

□ 主な内容

【第 30 回 EST 創発セミナー〔中部〕(豊橋)参加者募集中!】

平成 28 年 1 月 19 日(火)に、豊橋にて第 30 回 EST 創発セミナー〔中部〕を開催します。
皆様のご参加をお待ちします。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu41.html>

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 112 回)

- 「『風土』でつながる『まち歩き』と『公共交通』」

【NPO 法人まちもびデザイン 事務局長 伊地知 恭右】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信!」(第 112 回)

- 「『低速モビリティ』が拓く未来の交通」

【ヤマハ発動機株式会社技術本部研究開発統括部イノベーション推進グループ
主査 山下 典之】

3. ニュース／トピック

- 「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】
- 11 月「エコドライブ推進月間」について【警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省】
- 第 9 回アジア EST 地域フォーラムの開催について【環境省、UNCRD】
- ワンウェイ型カーシェアリングに関する実証実験「sea:mo」に 2 人乗り車両「New Mobility CONCEPT」を追加【神戸市】
- 歩くまち・京都レールきっぷ 歩くまち・京都フリーきっぷの発売について【京都市】
- 秋のマイカー流入抑制に向けた広域的な広報の実施について【京都市】
- 地下鉄東西線&icsca サービス拡大 特設サイトをオープン【仙台市交通局】
- 「パーク&ライド」実施について【イオンリテール株式会社、神姫バス株式会社】
- 「Ha:mo」を活用したパーソナルモビリティ・シェアリングサービスの実証実験実施について【トヨタ自動車株式会社】
- ハイウェイから一般道までの自動運転が可能な実験車両での公道テスト開始について【日産自動車株式会社】
- 「カーシェアリングに関するアンケート」調査結果について【タイムズ 24 株式会社】
- 2015 年全国カーライフ実態調査結果について【ソニー損害保険株式会社】
- 世界のエネルギー関連 CO2 排出量の最新データを公表【国際エネルギー機関】

4. イベント情報

- 第 30 回 EST 創発セミナー〔中部〕【2016/1/19】
- 路線バスの可能性を考えるシンポジウム in 京都～利用のボトルネックの発見と解決～【2015/12/3】
- 第 13 回 ITS シンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクト 2015(第 17 回)【2015/12/10-12】
- 平成 27 年度地域公共交通活性化シンポジウム in 関西～みんなで使おう公共交通～【2015/12/11】
- 第 6 回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉～つながろう 広がろう エコの環～【2015/12/10-12】
- 国際興業バスまつり 2015【2015/12/13】
- 京都スマートシティエキスポ 2016【2016/6/1-3】

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 112 回)

●「『風土』でつながる『まち歩き』と『公共交通』」

【NPO 法人まちもびデザイン 事務局長 伊地知 恭右】

近年、観光振興・地域振興の分野で「まち歩き」というキーワードが定着してきたように思います。ここでは、「まち歩き」を正確に定義することにあまり意味がありませんが、およそ「これまで観光という視点からは見過ごされていた地域の資源(宝)を中心に、当該地域をゆっくりと時間をかけて“徒歩で”めぐる旅」といったところでしょうか。情緒的には、「地域に寄り添う、地域性に触れる旅」と言ってもいいかも知れません。

さて、公共交通の利用促進を期するにあたっては、「移動サービス(路線・ダイヤ・運賃・車両・接遇等)」の品質向上もさることながら、「目的」を創造・演出することも重要となってきます。この「目的」の創造・演出には多様な手段が考えられますが、その中でも「まち歩き」の活用・企画・実施は、公共交通利用促進・観光(地域)振興の相互においてとても親和性が高い取り組みだと感じています。

そう感じる理由は、「まち歩き」と「公共交通」がいずれも「風土」や「地域の物語」と直結しているものだという点に集約できるように思います。まち(土地)の歴史や人、生活風景、郷土料理、郷土芸能、民芸などといったものに触れる「まち歩き」、地域の歴史・文脈と共にその時代にあわせて生活の不可欠な「移動」を支え続けてきた「公共交通」。これらはそもそも不可分のものであると言っても良いのかもしれませんが。例えば、「その地域を愛する、誇りに思う」気持ちを測る「地域愛着」という心理尺度がありますが、「自動車で移動する人」よりも「公共交通で移動する人」の方が、この指標が高いという研究結果があります。これは、公共交通の方が「風土」と接する機会が多いために、地域を知り、誇りを持つ、愛着を持つ可能性が高くなるためだと考えられます。

つまり、平易な言葉で言えば、「『まち歩き』が『その地域を知る、その地域に触れること自体を楽しむ』ものだ」とすれば、その際の移動に『路線バスなどの公共交通』はめっちゃくちゃにフィットするはず！というわけです。これは、わざわざ面倒な説明をしなくても共感いただけるところかとも思います。ローカル線、バス旅の魅力は「旅情」に代表されると言えるでしょう。そして「旅情」があるほど、「まち歩き」の思い出が楽しいものになることは必定です。「まち歩きには公共交通で」。今後、じわじわと浸透してくる気がしてならない今日この頃です。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 112 回)

●「『低速モビリティ』が拓く未来の交通」

【ヤマハ発動機株式会社技術本部研究開発統括部イノベーション推進グループ
主査 山下 典之】

平成 26 年 11 月 12 日、石川県輪島市で黄色いナンバープレートを付けた小さなクルマが走り始めました。それは、日本で初めて公道走行が認められた電動ゴルフカー「輪島エコカート」です。

朝市で有名な輪島市は、本年度の NHK 朝ドラ「まれ」の舞台にもなりましたので、賑わいを少し取り戻してはいますが、他の地方都市同様に少子高齢化や財政難、公共交通の利便性低下等の課題に直面しています。

これらの課題を解決すべく、輪島商工会議所が中心となって、住民も観光客も手軽に利用できる「次世代交通システム」の構想が、平成 22 年度にスタートしました。町全体を 8 つのループ状コースでカバーし、そこを自動走行する「エコカート」でつなぐことが長期的な目標です。まずは、非公道での社会実験を通じて、実現に向けての課題抽出と受容性の調査が繰り返し行なわれました。ここで発信されたのは、「水平に動くエレベーター」というイメージで、誰もが安心して町の中をゆっくり移動できるという価値観です。

この活動に賛同したヤマハ発動機グループは、東京大学の鎌田実教授を交通関係有識者として招く「輪島次世代交通対策協議会」に加わり、関係省庁との協議を重ねた結果、長年の悲願であった「公道走行」の認可基準を満たす車両をついに誕生させたのです。現在、4 台のエコカートが商工会議所職員により運転され、利用需要や一般の交通流への影響調査、事業モデルの検討等が行なわれています。

最高速度 20km/h 未満という「低速モビリティ」ですが、人々が暮らすコミュニティ内ではとても親和性が高く、オープンの車体構造は各地で展開されている「歩ける街づくり」にもぴったりにフィットします。さらに、環境負荷の低い小型軽量 EV 車両を「低速」で運行させることで、環境メリットを一層引き出すことが出来ます。

世間では「自動運転」が話題となっていますが、ゴルフ場では既に 1996 年から自動運転（電磁誘導方式）のゴルフカーが走っています。使用する場所と条件を特定して、運行環境をきちんと整備すれば、最も早く自動走行サービスの社会実装が可能なシステムです。法規制等の課題はありますが、これまでと同様に一步ずつ実現に向けてのトライが進められますので、ご注目ください。

人口 3 万人の小さな町での「手探りながらも志の高い取り組み」が、住民の心身と地域経済を共に活性化させ、やがては日本各地に「日常生活空間内での低速モビリティ」という新しい価値観を定着させていくことを大いに期待しています。

■事例紹介映像:リンク先ページを下にスクロールして頂くと輪島での動画がございます。

http://www.yamaha-motor.co.jp/golfcar/lineup/special/sp_case02.html

3. ニュース／トピック

●「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

国土交通省では、環境性能に特に優れた電気自動車の普及を図るため、他の地域や事業者による電気自動車の集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取り組みを行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの電気自動車の導入を重点的に支援するため、「電気自動車による地域交通グリーン化事業」を実施しています。この度、本事業の公募を開始しましたので、お知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000155.html

●11月「エコドライブ推進月間」について【警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省】

エコドライブ普及連絡会では、エコドライブの普及推進を図るため、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月を「エコドライブ推進月間」とし、シンポジウムの開催や全国各地でのイベント等を連携して推進し、積極的な広報を行うこととしています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000115.html

●第9回アジアEST地域フォーラムの開催について【環境省、UNCRD】

環境省は、国際連合地域開発センター（UNCRD）、ネパール連邦民主共和国公共インフラ・交通省及び国際連合アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）と共催で、平成27年11月18～20日に、アジアEST地域フォーラム第9回会合をネパール連邦民主共和国・カトマンズにて開催しました。

<http://www.env.go.jp/press/101647.html>

●ワンウェイ型カーシェアリングに関する実証実験「sea:mo」に2人乗り車両「New Mobility CONCEPT」を追加【神戸市】

神戸市では、公共交通を中心に歩行者、自転車、自動車などがバランスよく組み合わせられた、安全で快適な交通環境の形成をめざして様々な施策を進めています。8月22日（土）より行っているワンウェイ型カーシェアリングの実証実験「sea:mo」に、新たに2人乗りの車両を追加し、さらに使いやすくなります。ポート（乗り捨て場所）も順次増設していきます。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2015/11/20151119161301.html>

●歩くまち・京都レールきっぷ 歩くまち・京都フリーきっぷの発売について【京都市】

京都市では、公共交通での観光を推進するため、本年度は鉄道事業者6社局、バス事業者2社局との連携の下、これまでの「京都フリーパス」の一部を変更、更にお得な2種類の乗車券を発売します。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000190381.html>

●秋のマイカー流入抑制に向けた広域的な広報の実施について【京都市】

京都市では、秋の紅葉シーズンに向けて、交通の円滑化と安全快適な歩行空間を創出するため、マイカーの流入抑制に向けた様々な広報を実施しています。今年度は、新たな取組として、交通事業者と連携した車内吊り広告の掲出及び鉄道駅でのポスター掲出を行うとともに、市内の観光案内所及びホテル・旅館と連携した公共交通利用促進情報のチラシを配架するなど、広報の充実を図っていきます。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000190475.html>

●地下鉄東西線&icsca サービス拡大 特設サイトをオープン【仙台市交通局】

仙台市交通局では、平成 27 年 12 月 6 日(日)に開業予定の地下鉄東西線と IC カード乗車券 icsca(イクスカ)のサービス拡大に伴う特設サイトをオープンしました。

<http://www.kotsu.city.sendai.jp/2015touzaisensp/index.html>

●「パーク&ライド」実施について【イオンリテール株式会社、神姫バス株式会社】

イオンリテール株式会社と神姫バス株式会社は、環境配慮と地域社会への貢献に対する共通意識により、「持続可能なまちづくり」を目的として相互で協力し、ショッピングセンターの駐車スペースと路線バス網を活用した、兵庫県内で初となる取り組み「パーク&ライド」を実施します。

http://www.shinkibus.co.jp/info_contents/pdf/20151030_01.pdf

●「Ha:mo」を活用したパーソナルモビリティ・シェアリングサービスの実証実験実施について【トヨタ自動車株式会社】

トヨタ自動車株式会社は、次世代交通システム「Ha:mo(ハーモ)」の取り組みの一環として、沖縄県本部半島で観光客を対象にトヨタ車体製「COMS」のシェアリングサービス「ちゅらまーい Ha:mo」の実証実験を 2016 年 1 月中旬から 2016 年 12 月末までの約 1 年間実施します。

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/9923655/>

●ハイウェイから一般道までの自動運転が可能な実験車両での公道テスト開始について【日産自動車株式会社】

日産自動車株式会社は、ハイウェイ・一般道を含むルートを目的地まで自動運転で走行する実験車両での公道テストを開始しました。日産は持続可能なモビリティ社会の実現に向け、走行中の CO2 の排出をゼロにする「ゼロ・エミッション」と日産車が関わる交通事故の死亡・重傷者数を実質ゼロにする「ゼロ・フェイタリティ」の 2 つの企業ビジョンを掲げています。その第一弾として、2016 年末までには混雑した高速道路上での安全な自動運転を可能にする技術「パイロットドライブ 1.0」を世界に先駆けて日本市場に導入する予定です。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2015/_STORY/151029-01-j.html

●「カーシェアリングに関するアンケート」調査結果について【タイムズ 24 株式会社】

タイムズ 24 株式会社は、運営するカーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の会員およびカーシェアリング未利用者を対象に実施した「カーシェアリングに関するアンケート」の結果を発表しました。

<http://www.park24.co.jp/news/2015/11/20151111-1.html>

●2015 年全国カーライフ実態調査結果について【ソニー損害保険株式会社】

ソニー損害保険株式会社は、2015 年 9 月 12 日から 9 月 18 日の 7 日間、自家用車を所有し、月に 1 回以上車を運転する 18 歳から 59 歳の男女に対し、全国カーライフ実態調査をインターネットリサーチで実施しました。現在主に運転している車のエンジンタイプは、ガソリン車が 89.3%、HV6.1%、クリーンディーゼル車 (CDV) 1.5%、プラグインハイブリッド車 (PHV) 0.4%、電気自動車 (EV) 0.2%となりました。

http://from.sonysonpo.co.jp/topics/pr/2015/11/20151105_01.html

●世界のエネルギー関連 CO2 排出量の最新データを公表【国際エネルギー機関】

国際エネルギー機関は、国連気候変動パリ会議を前に、世界のエネルギー関連 CO2 排出量の最新データ(2013 年)を公表しました。それによると、2013 年の世界のエネルギー関連 CO2 排出量は前年から 2.2%増加し、32.2 ギガトンに達しました。この増加率は、2012 年の増加率である 0.6%より高かったものの、2000 年以降の年平均増加率である 2.5%は下回っています。

<http://www.iea.org/newsroomandevents/news/2015/november/iea-updates-official-carbon-emissions-data-ahead-of-climate-change-negotiations.html>

4. イベント情報

● 第 30 回 EST 創発セミナー〔中部〕

日時: 2016 年 1 月 19 日(火) 13:30～16:30

場所: 名豊ビル 新館 8 階 コミュニティーホール

主催: 中部運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu41.html>

● 路線バスの可能性を考えるシンポジウム in 京都～利用のボトルネックの発見と解決～

日時: 2015 年 12 月 3 日(木) 13:00～16:35

場所: 龍谷大学響都ホール 校友会館

主催: 近畿運輸局、一般財団法人近畿陸運協会、近畿バス団体協議会

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/files/1447208350.pdf>

● 第 13 回 ITS シンポジウム 2015

日時: 2015 年 12 月 3 日(木)、4 日(金)

場所: 首都大学東京

主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/

● エコプロダクツ 2015(第 17 回)

日時: (1 日目) 2015 年 12 月 10 日(木) 10:00～18:00

(2 日目) 2015 年 12 月 11 日(金) 10:00～18:00

(3 日目) 2015 年 12 月 12 日(土) 10:00～17:00

場所: 東京ビッグサイト 東ホール

主催: 一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2015/>

● 平成 27 年度地域公共交通活性化シンポジウム in 関西～みんなで使おう公共交通～

日時: 2015 年 12 月 11 日(金) 13:30～17:30

場所: ホテルプリムローズ大阪 2F「鳳凰」

主催: 近畿運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/files/1446683090.pdf>

●第6回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉～つながろう 広がろう エコの環～

日時:2015年12月12日(土)10:00～16:30

場所:大宮ソニックシティ4階 市民ホール ほか

主催:第6回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉実行委員会

<http://www.kannet-sai.org/about/activities/2015/1212.html>

●国際興業バスまつり 2015

日時:2015年12月13日(日)10:00～15:00

場所:国際興業バス「さいたま東営業所」

主催:国際興業株式会社

http://5931bus.com/news_details/id=2030

●京都スマートシティエキスポ 2016

日時:(1日目)2016年6月1日(水)10:00～17:30

(2日目)2016年6月2日(木)10:00～17:30

(3日目)2016年6月3日(金)10:00～16:30

場所:国立京都国際会館、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) ほか

主催:京都スマートシティエキスポ 2016 運営事務局

<http://expo.smartcity.kyoto/>

5. その他

●EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。

会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail:magazine@ecomor.jp(担当:熊井)

=====

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomor

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>